

平成 27 年 11 月 24 日

碧海信用金庫

各 位

2015 年度半期ディスクロージャー情報の開示について

碧海信用金庫（理事長：福田 雅美）はこのたび、四半期ごとに発行している情報誌「Hekikai Report」の誌面上で、当金庫の 2015 年度半期のディスクロージャー情報を紹介させていただきましたので、お知らせいたします。

記

1. 主な開示内容

■業績ハイライト	■財務諸表
■お客さま満足度向上への取り組み	■自己資本比率
■地域社会の活性化への取り組み	■時価情報
	■自己資本の充実の状況

※自己資本の充実の状況はホームページ上のみで掲載しています。

2. 情報誌「Hekikai Report」の概要

〔情報誌名〕 「Hekikai Report vol. 28 秋号」（へきかいレポート）

〔サイズ〕 A4 カラー 27 ページ

〔発行部数〕 8,000 部

〔主な配付先〕 当金庫の取引先ならびに関係機関等

3. 店頭での縦覧開始

- ・本情報誌ならびに半期ディスクロージャー情報については、当金庫の店頭・ロビーでご覧いただけます。
- ・当金庫ホームページ (<http://www.shinkin.co.jp/hekishin>) でも、ディスクロージャー情報の内容を開示します。

以 上

「Hekikai Report vol. 28 秋号」のイメージ

Hekikai Report

Hekishin Business Report quarterly Autumn 2015

vol. 28 秋号

へきしん2015年度半期ディスクロージャー (平成27年4月1日～平成27年9月30日)



企業訪問
地域の躍動企業
友澤木工株式会社 代表取締役 友澤 隆之 氏
専務取締役 基藤 弘枝 氏

地域の景気動向 平成27年9月調査
ビジネスレポート
上司と部下のギャップを探れ! 14
なぜ、上司の意図は部下に伝わらないのか?

経営のヒントとなる言葉
著者 宇野 アルベルト・アインシュタイン
へきしんディスクロージャー
2015年度半期



碧海信用金庫

DISCLOSURE
Hekikai Report

へきしん2015年度半期ディスクロージャー

当金庫の2015年度上半期の業績をお知らせいたします。

■ 当金庫の概況 (平成27年9月末現在)

期 間	昭和25年10月25日
総 額	26,022億円
預 金	19,613億円
貸 出	9,302億円
出 資	1.2億5,000万円
会 員 数	75,906人
自 己 資 本 比 率	18.01%(増)
店 舗 数	75店舗(うち出張所1カ所)
駐 在 員 数	19名(うち2名)
常 務 員 数	55名(うちATMコーナー4名)
本 店 所 在 地	茨城県春日部市15番1号

■ 基本方針
中小企業及び地域企業への地域金融機関として
地域貢献活動のため経営する。

JICR格付
へきしんは、(株)日本信用研究所(JCRI)より、
長期格付機関として、11年連続で
「A+」の格付を受けています。

※本資料に掲載している情報は、特に表示のない限り、最新として提供されるもの
を切当とするものとします。
※本誌に掲載している記事については、本誌掲載者の同意を受けていません。

■ 自己資本比率
金融機関の安全性を要する代表的な指標である自己資本比率は、利益
計上による資本の増加がもたらした豊富な現金等の増加に伴う貸出
の増加、特に貸出金の増加等の要因により、平成27年9月末は0.69
ポイント下の18.01%となりました。

平成22年9月末	平成23年9月末	平成24年9月末	平成25年9月末	平成26年9月末	平成27年9月末
19.08	19.49	19.11	18.70	18.01	18.01

業績ハイライト

■ 預金増減
平成27年度上半期は、個人の家計の定期預金を中心に増加に増加
し、平成27年9月末の預金総額は19,613億円(平成27年3月末
比550億円増)となりました。

平成27年9月末	平成27年3月末	平成26年9月末	平成26年3月末	平成25年9月末	平成25年3月末
19,613	19,063	18,053	17,321	16,920	16,220

■ 貸出増減
平成27年度上半期は、専業向け貸出金および個人向け貸出金が
ともに増加しました。その結果、平成27年9月末の貸出金総額は9,302
億円(平成27年3月末比222億円増)となりました。

平成27年9月末	平成27年3月末	平成26年9月末	平成26年3月末	平成25年9月末	平成25年3月末
9,302	9,074	9,510	9,242	9,134	8,134

■ 不良債権の状況
「事業再生・経営支援活動」も主体に、地域経済への影響を十分に考
慮しつつ減少に努めた結果、金融再生法ベースの不償還債額は、平成
27年9月末は2,239億円(前年3月末比323億円、不良債権比率は0.239ポイント下
の2.55%となりました)。

平成27年9月末	平成27年3月末	平成26年9月末	平成26年3月末	平成25年9月末	平成25年3月末
2,239	2,223	2,379	3,883	3,902	4,286

■ 業績の状況
平成27年度上半期は、貸出金利の減少や預金利息の増加により
貸出利益が減少しましたが、経費の減少や専業貸出利益の増加など
により、営業利益は32億円、純利益は23億円となりました。

		平成26年度 上半期	平成27年度 上半期	増減
営業利益		10,640	10,134	△506
貸出利益		9,924	9,420	△504
貸出金利		562	594	32
その他貸出利益		252	116	△136
(注) 1. 専業貸 出利益(貸出)		213	80	△133
経費		8,541	7,935	△606
人件費		4,815	5,172	356
物産費		3,700	2,485	△1,215
一般貸出(貸入金)		—	—	—
営業利益(貸)		2,239	2,223	△16
営業利益(貸)		2,239	2,223	△16
営業利益		865	978	113
不償還債貸出利益		605	238	△366
その他貸出利益		225	682	457
経常利益		3,184	3,227	43
特別利益		△22	△2	19
貸出利益		2,318	2,355	35



※1 経常利益は、営業利益と特別利益の合計額です。
※2 特別利益は、繰上償還による繰上償還利益と繰上償還損失、及び繰上償還による繰上償還利益と繰上償還損失の合計額です。